

いきいき男女共同参画

男女共同参画く地域の声は

「男女共同参画コミュニケーション」が地域に向いて学習会・懇談会を開催し、男女共同参画への理解を深めてもらうと共に、今後地域でどう推進していくか話し合いをしています。その中で出された意見を紹介します。

（男性 ● 女性）

富田区（瑞穂地区）

●女性に区役は来ない。夫が都合悪いとき代わりに会議には出るが。

●会議に出ると区で何をやっているかわかる。

●議員は昔から男性となっていて、いまだかつて女性はない。

●女性役員の話もあるが、役を引き受けてくれる人はいない。常会等に出てもらえれば育っていく。大いに出てきて



発言する参加者

もらい、いろいろな意見を出してもらえば、男性も女性の意見が分かっていると思う。

●家事は、夫はたまに片づけや米をとぐのをやってくれる時もあるが、お手伝いという感じ。

●家は親も同居していたし、私は子育ても家事もやらなかった。

●20〜30代はうらやましい入学式に夫婦で来たり、妊婦検診も夫婦で来ている。変わったなあと思う。

●関沢区（瑞穂地区）女性にも区に参画してほしいとの意見があるが、地域性なのか、女性に参加しづらい雰囲気があるのか、打診したら断られたことがある。今後どのように参加してもらうかが課題だ。

関沢区（瑞穂地区）

●女性にも区に参画してほしいとの意見があるが、地域性なのか、女性に参加しづらい雰囲気があるのか、打診したら断られたことがある。今後どのように参加してもらうかが課題だ。



コミュニケーションと意見を交わす

●女性にも負担にならないような運営をしていかないと。

●趣味の女性のグループがあるが、区の行政への目も育てなければよい。

●若い頃議員になった時、どうしても出られなくて2〜3回女房を出したら前代未聞だと言われた。行けば話も聞けて状況を知ることができ

●男女平等に、社会的には理解を示しても家庭に帰るとそれを忘れてしまうのが現実。家庭の中の小さな気づいたことから変えていく、男性が学習会に参加して理解を深めることが大事だ。

常盤地区

●集落の会議に出るのは1軒に1人で、そうすると、出るのは男性で、私たちの集落もほとんど男性。かなり前から役員に女性をとの意見が出るがなかなか進まない。会議で出した話を家庭に持ち帰って伝えることが必要だと思う。実情を知らない意見も言えないし役もできないのではない

●区の会議に、女性の出席は少ない。女性が出るようになると家族の協力も出てきて少しずつ変わっていく。

●私たちの区は夫の代わりに妻も出ている。2人で来ると狭いので入れない。

●女性の意識改革をしてほしい。

●女性を引き上げる方法を地域でも考えてほしい。男性も女性も話し合いの場が持てる世にしていきたい。

上野区（常盤地区）

●女性を育てるといっても、子どもじゃないんだから、女性も自分でも努力してほしい。

●経済的に年配者も支えないといけない。そこへ役など回ってくるやつてられない、というのが現実。今日話を聞いて何となく共同の時代になったのかなと思った。男女平等にやろうということは、会社ではそうやってきている。地域ではどうやっていくか。コミュニケーションに入ってもらい、もっと大勢に話してもらいたい。

●コミュニケーションの意見

●男性の苦労話も聞いてきたし、女性が甘えているという話もあった。ぜひ工夫して、女性も区を支えていくように、そんな集落を作してほしい。

●少子高齢化の時代なので、地域ぐるみで村を支えるシステムを今から作っておかないと、どうにもならなくなってしまう時代になった。

●職場のこと、家庭のこととも考えていく必要がある。男女ともに支え合いながら生活していける社会にしていきたい。

くらしのセミナー終了!

珈琲の美味しい入れ方

1月16日 JCQAコーヒーインストラクター中臣一利さんからペーパードリップ式の入れ方のコツを学びました。

受講生の声...

◇コーヒーに対する講師の極意、気持ちが伝わってきました。忙しい日々の中、教えていただいた



コーヒーの入れ方でゆったりとした時間を過ごしていきたいです。

◇ひとり一人実践が出来よく分かった。

◇今回とても珍しい講座でコーヒー好きの自分にとっては嬉しかった。

◇今まで自分の入れ方と全く違ってとても勉強になった。他に豆の違いについても教えていただけたらもっと良かったと思う。

◆コーヒーの酸味が分かる人は大人だそうです。



△おいしい入れ方に挑戦、ケーキと一緒にいただきました

女性のための護身術

1月28日 飯山警察署職員から身の安全を守るポイントを教えていただきました。

受講生の声...

◇護身術は、初めてだったので、ためになりました。



△護身術を体験しました

◇以前から関心があったが『術』は難しい。結論は、危険なところには近寄らないこと、その場を逃げるかな!

◇一つ覚えていざという時に備えられればと思った。

いいやま女性センター未来

『くらしのセミナー』では、専門家から生活に役立つヒントを3回講座で学びました。

くらしが変わる!

シンプル『整理・収納』

12月10日 整理収納アドバイザー 熊谷一子さんから、整理・整頓・片付け・収納の違いと収納の具体例を示され、受講生も巻き込んで親しみやすい講座となりました。

受講生の声...

◇無駄な物を増やさない、処分することが大事だと思いました。

◇不必要な物を取り除くことがまず始めと聞き、要る要らないの判断からしていきたい。

◇早速、引き出し一つずつから始めたいと思った。



△使いやすい引き出し収納法

◇要領を得たお話で、受講生の持つ問題点を浮き出させてもらった。

◇内容的には、市販の本やTVで知った手法とダブって

いたが、直接説明され体感できた。

◇思い出の品は無理に整理しなくても良いと聞き、ちょっと安心しました。



女性センター未来を

利用してみませんか

いいやま女性センター未来は、働く女性の福祉の増進及び地位の向上を図るための活動をおこなっています。その事業の中にグループ活動の育成、指導及び各種相談に関するものがあります。

施設の利用は、飯山市内に在住または勤務されている女性を中心に、5人以上のグループをつくり、定期的に女性センターを利用するための申請をしていただき、登録されると、使用料が減免となり、年間定期的に利用できます。

詳しくは、女性センター未来 ☎0543までお問い合わせください。

人権政策課男女共同参画係
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990
(内線 371)

E-mail：
jinken@city.iijama.nagano.jp

いいやま女性センター未来
飯山市大字飯山 1431
電話・FAX：0269-62-0543

E-mail：
center-mirai@city.iijama.nagano.jp